

令和4年度
幼児期からの運動習慣形成プロジェクト
(幼児期からの運動遊び普及事業)
報告書



鹿児島県教育委員会

目 次

1	イベント等の活動の様子	P 1～P 2
2	事業の趣旨・内容・ 鹿児島県教育委員会の事業実施について	P 3
3	鹿児島県教育委員会と知名町教育委会の 事業実施内容について	P 4
4	事業実績一覧について	P 5
5	事業の実績説明	P 6～P 8
6	アンケート調査について	P 8～P10
7	各種イベント参加者の感想	P10～P11
8	事業の成果及び課題	P11～P12
9	次年度へ向けての取組について	P12

イベント等 の活動の様子



2022.12.15 認定子ども園すまいる

バルシューレ・デモンストレーション

2023.1.19 認定子ども園きらきら



広域スポーツセンター研修会事例発表



県内への普及・啓発

事業報告

1 事業の趣旨

人生 100 年時代を迎えるに当たり、生涯を通じて健やかに過ごすためには、運動・スポーツを通じて健康増進や健康寿命の延伸を実現することが必要不可欠であるが、運動習慣形成には幼児期の経験が重要であると言われている。

また、「体力・運動能力調査」では、成人のスポーツ習慣と、小学生時に運動を楽しんでいることには強い相関が認められている。さらに、小学生時に運動を楽しんでいた子供は、未就学時の外遊び回数が多いことが指摘されている。

このように、幼児期の運動習慣作りは、子供の体力向上はもとより、成人以降のスポーツ習慣や高齢期以降の健康の保持にも大きな影響を及ぼすものであることから、幼児期からの望ましい運動習慣の形成に取り組む。

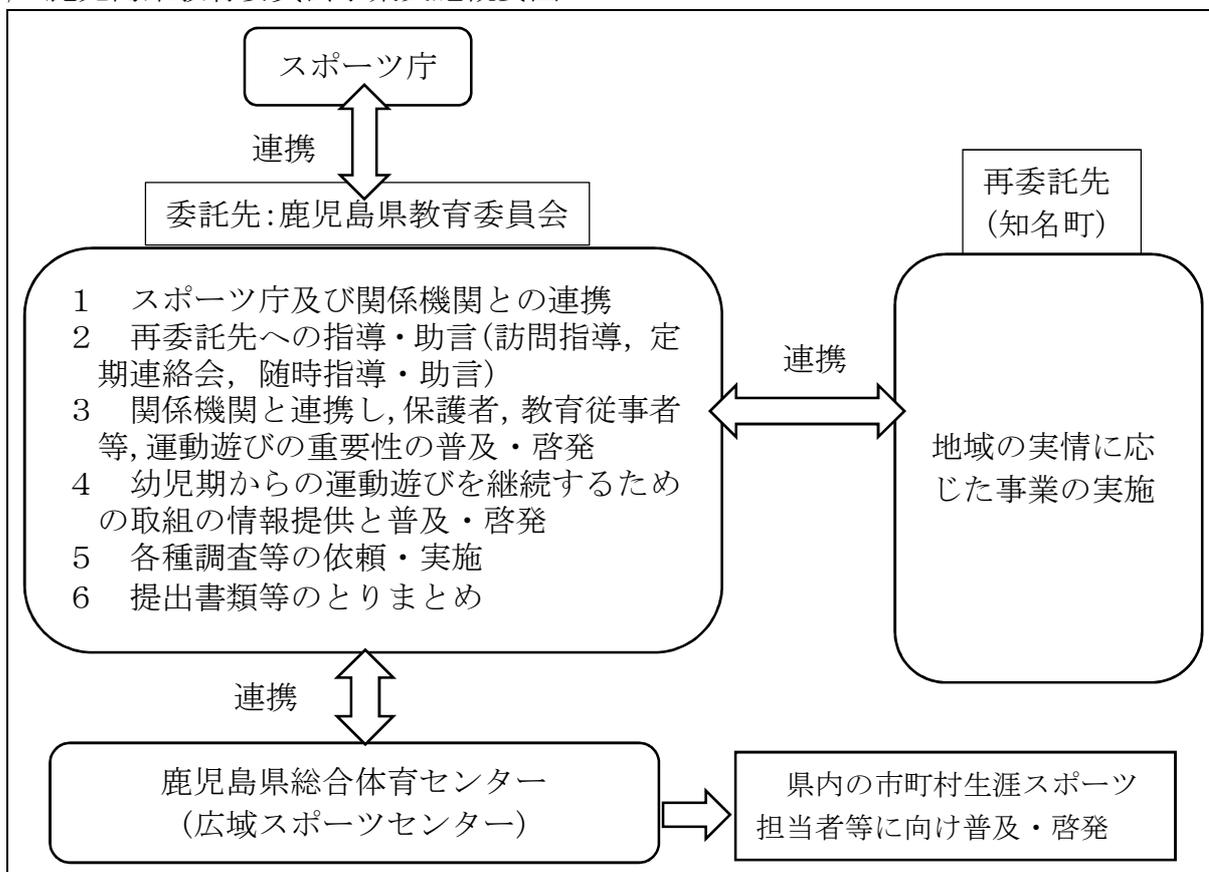
(スポーツ庁公募要領より)

2 事業の内容

- (1) 保護者、先生等を対象とした子供の運動遊びの重要性に関する普及・啓発
- (2) 幼児及び小学校児童を対象とした「運動遊び」の提供

3 鹿児島県教育委員会の事業実施について

- (1) スポーツ庁の公募事業である本事業を受託した。
- (2) 知名町教育委員会を再委託先として事業実施を行った。
- (3) 鹿児島県教育委員会事業実施概要図

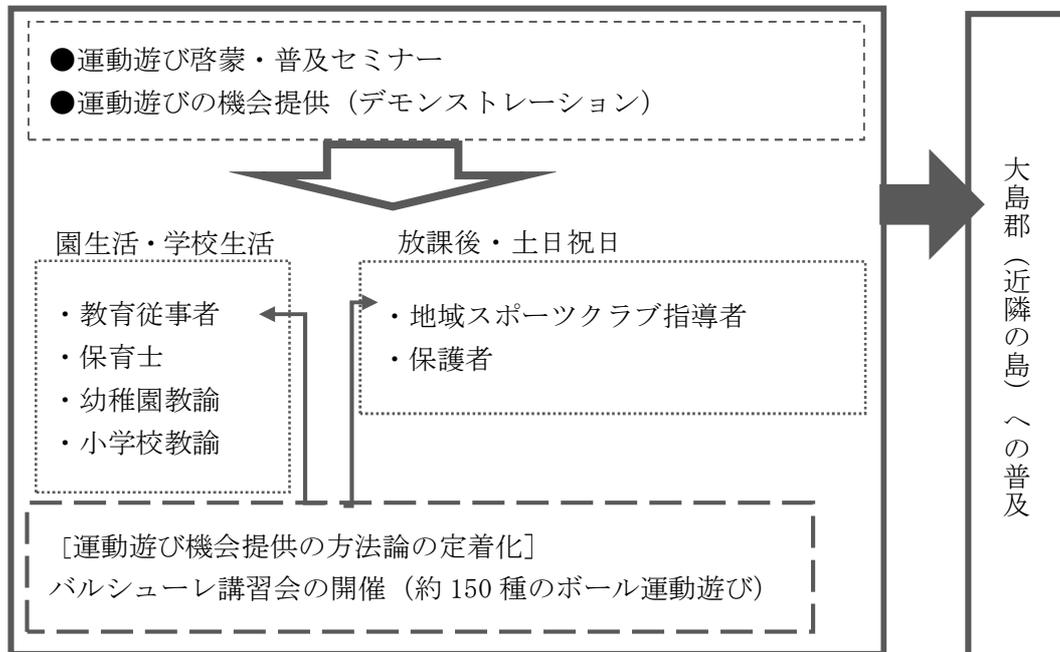


(4) 鹿児島県教育委員会の事業実施内容について

- ア スポーツ庁及び関係機関との連携
本事業に関する情報の収集及び情報共有（10月初旬及び随時）
 - ・ スポーツ庁 …… 本事業の詳細等の情報収集や情報提供 等
 - ・ 鹿児島県総合体育センター …… 情報収集や情報発信 等
- イ 知名町教育委員会(再委託先)への指導・助言
訪問指導（10月初旬, 1月下旬）, 情報共有(月1回), 随時連携
 - ・ 知名町教育委員会への訪問指導及び定期的に情報共有を実施し, 現状把握と事業取組への指導・助言
- ウ 知名町教育委員会との連携による保護者, 教育従事者等への運動遊びの重要性の普及・啓発
 - ・ 知名町教育委員会との連携による運動遊びの重要性の周知及び普及・啓発（セミナー, 講習会）
- エ 幼児期からの運動遊び事業の県内への情報提供と普及・啓発
広域スポーツセンター研修会（11月下旬, 2月初旬）
 - ・ 県広域スポーツセンター研修会で県内の市町村担当者及び総合型地域スポーツクラブ等の関係者に本事業の取組等を情報発信し, 運動遊びの経験を通して, 運動習慣形成につながり, 体力向上につながる等の普及・啓発
- オ 各種調査等の依頼・実施
知名町教育委員会と連携した, アンケート調査及び行動変容調査等の実施
 - ・ スポーツ庁等からの各種調査の実施依頼と実施
- カ 提出書類等のとりまとめ
知名町教育委員会との連携を行い, 提出書を作成（1月～）
 - ・ 関係機関と連携した提出書類等の作成

4 知名町教育委員会の事業実施について

(1) 知名町教育委員会事業実施概要図



本事業では、保護者及び教育従事者に対する運動遊びの普及・啓発と合わせ、運動遊びの方法論の一つであるバルシューレ（約150種のボール運動遊びを体系化したもの）のデモンストレーション、教育従事者への講習会などを開催し、島内での運動遊び定着のための土台作りを行う。また、セミナー等はオンラインでも同時配信し、近隣の島（大島郡）への普及の足掛かりとする。

(2) 知名町教育委員会の事業実施内容について

ア セミナー開催(運動遊びの重要性に関する普及)について

- ・ 幼児期・児童期の運動研究を基に①教育従事者（保育園，幼稚園，認定こども園，小学校）向けのセミナーと②幼児期・児童期の子どもを持つ保護者向けのセミナーを開催

イ デモンストレーション（運動遊びを経験できる環境の充実）について

- ・ 知名町の園児及び小学生を対象にしたバルシューレ教室のデモンストレーションを実施。バルシューレの普及をしている指導員を招聘し、デモンストレーションの実施

ウ バルシューレ講習会開催（指導者の育成）について

- ・ セミナー参加者を中心に希望者を募り，指導方法の概論や基礎演習等を学び「バルシューレ」の指導者育成を行い，継続的な運動遊びの定着の実現

5 事業の結果について

(1) 事業実績一覧

イベント関係（セミナー，デモンストレーション，講習会）					
	日付	時間	イベント名	対象者	主な内容
1	11月26日	10:00～	「運動遊び」セミナー	保護者・指導者	子どもに必要な運動について
2	12月15日	13:30～	未就学児運動教室	すまいる園児	デモンストレーション
3	1月19日	13:30～	未就学児運動教室	きらきら園児	デモンストレーション
4	2月3・4日	9:00～	バルシューレ講習会	保護者・指導者	バルシューレ講習会
常時活動					
	日付	時間	名称	対象者	主な内容
1	12月4日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	バルシューレ他
2	12月11日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	バルシューレ他
3	12月12日	9:00～10:00	未就学児運動教室	すまいる園児	リズムトレーニング・バルシューレ他
4	12月18日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	リズムトレーニング・バルシューレ他
5	12月25日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	リズムトレーニング・バルシューレ他
6	1月8日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	バルシューレ他
7	1月15日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	バルシューレ他
8	1月22日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	バルシューレ他
9	1月29日	9:00～10:00	未就学児運動教室	未就学児～小学校低学年	バルシューレ他
訪問指導及び研修会					
	日付	時間	名称	主な内容	
1	11月16日	13:30～17:00	第1回広域スポーツセンター研修会	県内市町村社会体育担当者及び総合型クラブ関係者へ本事業内容等の周知	
2	12月15日	10:00～15:30	訪問指導	ヒアリング及びデモンストレーション視察，指導助言	
3	1月19日	10:00～15:30	訪問指導	ヒアリング及びデモンストレーション視察，指導助言	
4	2月3日	13:30～	第2回広域スポーツセンター研修会	県内市町村社会体育担当者及び総合型クラブ関係者へ本事業の成果と課題の発表と幼児期の運動習慣形成の重要性の周知	
スポーツ庁及び順天堂大学連携関係					
	日付	時間	名称	主な内容	
1	1月29日	午後	現地視察	バルシューレ講習会視察，指導助言 等	
2	3月10日	午後	全国シンポジウム	事例発表等	

(2) 事業の実績説明

ア 知名町教育委員会への指導・支援

- ・ 事業内容及び実施状況への指導助言（随時実施）
- ・ 全国シンポジウム及び県内への普及・啓発活動のための打ち合わせ
- ・ 知名町教育委員会訪問指導

訪問日：12月15日（木），1月19日（木）

内容：デモンストレーション視察，施設参観，ヒアリング



イ 幼児の運動遊びの重要性及び本取組の県内への普及・啓発

- ・ 広域スポーツセンター研修会での事例発表
研修会実施日：11月16日（水），2月3日（金）
参加者：県内総合型地域スポーツクラブ関係者
各市町村生涯スポーツ担当者 等
- ・ 県ホームページで研修会及び取組について掲載



ウ イベント等の開催

- ・ 運動遊びの重要性に関する普及・啓発

名 称	子どもの生きる力を養う「運動遊び」セミナー
実 施 日	令和4年11月26日（土）10:00～11:30
募集期間	令和4年11月10日（木）～25日（金）
開催場所	知名町民体育館 住所：鹿児島県大島郡知名町瀬利覚 2046
内 容	<p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの心身の発達に限らず，脳機能の向上に関わりのある運動。 ・ 子どもに必要な運動はどのようなものであるか。また，どのような効果があるのか。 <p>▼講師：日本体育大学 教授 岡出 美則 ▼プロフィール： 日本体育大学 スポーツ文化学部 スポーツ国際学科 教授 ▼学会活動：日本スポーツ教育学会副会長 ▼社会活動：公益財団法人 日本学校体育研究連合会 副会長 南スーダン国スポーツを通じた平和促進プロジェクト専門家 NPO 法人バルシューレジャパン 理事</p>
実施実績	<p>▼参加者数（対象：保護者，指導者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の保護者（11名） ・ 学校教育（3名） ・ 地域スポーツクラブ指導員（3名） 合計 17名 <p>▼実施の様子</p> 

・ 運動遊びを経験できる環境の充実

名 称	バルシューレ・デモンストレーション
実 施 日	第一回：令和4年12月15日（木） 第二回：令和5年1月19日（木）
募集期間	令和4年11月28日（月） ～ 令和5年1月20日（金）
開催場所	第一回：認定こども園「すまいる」住所：大島郡知名町瀬利覚 546-1 第二回：認定こども園「きらきら」住所：大島郡知名町田皆 1655
内 容	バルシューレ・デモンストレーション体験 バルシューレ約150種類の種目のうち、各5種目程度の体験を実施した。
実施実績	<p>第一回：認定こども園「すまいる」</p> <p>▼受講生徒数（対象：幼児，指導者）</p> <p>・園児（35名） ・保育士（5名） ・幼稚園教諭（1名） 合計 41名</p> <p>▼実施の様子</p>   <p>第二回：認定こども園「きらきら」</p> <p>▼受講生徒数</p> <p>・園児（12名） ・保育士（3名） 合計（15名）</p> <p>▼実施の様子</p>  

名 称	常時活動
実 施 日	令和4年12月4日（日）～ 令和5年1月29日（日）※活動回数9回
開催場所	認定こども園「すまいる」 住所：大島郡知名町瀬利覚 546-1 認定こども園「きらきら」 住所：大島郡知名町田皆 1655 等
内 容	・ バルシューレ及びリズムトレーニング
実施実績	<p>▼参加者数（対象：幼児，指導者，保護者）</p> <p>・ 未就学児～小学校低学年</p> <p>▼実施の様子</p>  

・ 指導者の育成

名 称	バルシューレ講習会
実 施 日	令和5年2月3日（金），4日（土）
募集期間	令和4年11月28日（月）～令和5年1月31日（火）
開催場所	知名町民体育館 住所：鹿児島県大島郡知名町瀬利覚 2046
内 容	<p>▼ボール運動遊び「バルシューレ」の講義及び実技</p> <p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発背景 ・基礎理論 ・実施方法 <p>[実技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム体験 ・プログラム実践 <p>▼講師：NPO 法人バルシューレジャパン 理事 岡出 美則</p> <p>▼プロフィール： 日本体育大学 スポーツ文化学部 スポーツ国際学科 教授</p> <p>▼学会活動：日本スポーツ教育学会副会長</p> <p>▼社会活動：公益財団法人 日本学校体育研究連合会 副会長 南スーダン国スポーツを通じた平和促進プロジェクト専門家 NPO 法人バルシューレジャパン 理事</p>
実施実績	<p>▼参加者数（対象：指導者等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者（5名）・認定こども園保育士（1名） ・地域スポーツクラブ指導員（4名） ・知名町・教育委員会職員（2名） 合計 12名 <p>▼実施の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

※ 保護者及び教育従事者に対する運動遊びの普及・啓発セミナーと合わせ、運動遊びの方法論の一つでもあるバルシューレ（約150種のボール運動遊びを体系化したもの）のデモンストレーション、教育従事者への講習会などを開催し、島内での運動遊び定着のための土台作りを行った。また、セミナー等はオンライン配信を行い、近隣の島（大島郡）への普及も図った。

(3) アンケート調査について

ア アンケート内容（基本5段階評価）

【指導者向けアンケート】

- 1 セミナー参加前の運動遊びの重要性に対する意識はどうか
- 2 セミナーに参加して運動遊びに関する意識は変化したか
- 3 セミナーに参加して子供たちに運動遊びの指導をしたいと思ったか

【保護者向けアンケート】

- 1 お子様はこれまで運動やスポーツなどを1日に平均どのくらい実施していますか
（30分未満・30分～1時間・1時間～2時間・2時間以上）
- 2 セミナー参加前の運動遊びの重要性に対する意識はどうか
- 3 セミナーに参加して運動遊びの重要性に関する意識は変化しましたか
- 4 セミナーに参加して子供達にもっと運動遊びの時間を確保したいと思いましたか

イ アンケートの実施方法

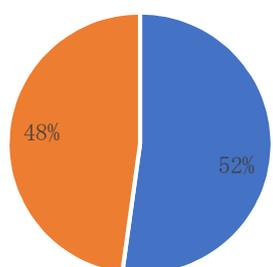
セミナー、デモンストレーション、講習会に参加した大人（指導者、保護者）を対象にイベント終了後にアンケートを実施した。

(4) アンケート調査の結果について

【参加者の特徴】

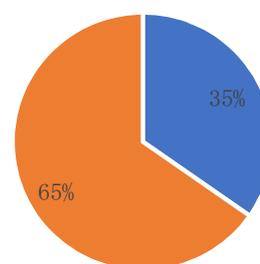
本事業では、子どもの習慣形成の考え方に大きく影響を与える、子どもを取り巻く保護者と教員及び地域のスポーツ指導員の意識・行動変容調査を行った。本事業の参加者は延べ人数で保護者 24 名（11/26 セミナー 11 名， 1/29 常時活動 8 名， 2/4・5 講習会 5 名），教員及び地域のスポーツ指導員 22 名（11/26 セミナー 6 名， 12/15 デモ 6 名， 1/26 デモ 3 名， 2/4・5 講習会 7 名）。実数で保護者 21 名，教員及び地域スポーツ指導員 19 名が参加した。また，男女比別で見ると男性 17 名，女性 29 名となった。

参加者内訳（属性） n=46



■ 保護者 ■ 教員・指導者

参加者内訳（属性） n=46



■ 男性 ■ 女性

【事業参加前後の意識・行動変容】

本事業の参加者に対しアンケートを実施し、「参加以前の運動遊びの重要性に対する意識」と「参加後の運動遊びの重要性に対する意識」の変化を調査した。アンケートの結果に対して対応のある t 検定を行った結果， $t(45)=2.92, p=0.005$ であり，条件間に有意差が得られた。

	運動遊びの重要性に対する意識 (5点満点)		
	実施前 (平均値)	実施後 (平均値)	有意差
(1) 運動遊びセミナー (n=14)	3.93	4.50	p=0.014
(2) デモンストレーション (n=23)	4.17	4.57	p=0.058
(3) バルシューレ講習会 (n=9)	4.33	4.44	p=0.759
全体 (n=46)	4.13	4.52	p=0.005

また，それぞれの実施事業毎のアンケート結果に対しても対応のある t 検定を行った結果，条件間に有意な差が得られたのは，(1)運動遊びセミナー ($t(13)=2.82, p=0.014$) のみであったが，これは(2)デモンストレーション，(3)バルシューレ講習会の参加者が事業参加以前に運動遊びの重要性を強く認識していたことから，参加後の意識の変化が大きくなかったことにも起因すると思われる。

事業全体の参加者のうち、参加以前の運動遊びの重要性への意識が高くない群(5点満点中3点以下)を抽出し、対応のあるt検定を行った結果、 $t(13)=5.26, p=0.0001$ であり、条件間に有意な差が得られた。この対象群の内訳は、(1)運動遊びセミナー=5名、(2)デモンストレーション=6名、(3)バルシューレ講習会=2名となっており、参加した事業に関わらず、参加以前の運動遊びの重要性が高くない参加者は、参加後に運動遊びの重要性への意識が高まったと考えられる。

【考察】

本事業を通して得られた上記の結果から、保護者・教員及び地域スポーツ指導員の運動遊びの重要性の意識・行動変容を起こしていくには、運動遊びの重要性への意識が高くない保護者層に対して、セミナー等の情報提供を行い、運動遊びの重要性の普及・啓発を行なっていくと共に、保護者・教員及び地域スポーツ指導員に対して本事業で扱ったバルシューレのような運動遊びの実例の紹介も同時に行い、実際に運動遊びの機会を増やしていく方法論の提供も行なっていくことで、子どもたちの運動遊び機会が増えていくと考える。下記に参加者アンケートの記述回答を一部抜粋しておく。

また、本事業では、地域の教職員、スポーツ指導員、教育委員会の関係者などが運動遊びの一つの手法であるバルシューレの講習を受講し、運動遊びの提供方法を学んだことから、今後も継続的に地域の子ども達への運動遊びの機会提供が期待される。

(5) 各種イベント参加者の感想等

ア 県広域スポーツセンター研修会事例発表の感想（県内への普及・啓発）

- ・ バルシューレについてかなり興味がわいた。
- ・ 県内でも「幼児期運動教室」を実施しているところがあるので、意見交換などあってもいいなと思った。
- ・ 沖永良部の中高生の活躍がめざましい。その根幹にある組織やバルシューレなどの運動プログラムが勉強になった。
- ・ 子供たちの将来を考えて、地域が計画的な推進体制を構築しようとしている状況が素晴らしいと感じ、参考になった。

イ セミナー参加者の感想（指導者、保護者への普及・啓発）

- ・ 大人が体を動かす楽しさを理解しないと子どもには伝えられない。
- ・ 子どもが安心して遊べる環境づくりも大事だと感じた。
- ・ 運動遊びの重要性をもっと多くの指導者が知るべきだと感じた。

ウ デモンストレーション参加の子どもの様子と関係者の感想（運動遊び場の提供）

〔子どもの様子〕

- ・ 全てのプログラムでいきいきと楽しそうにしていた。
- ・ 発達期に合わせたメニューなのでみんなが上手にできていた。

〔指導者の感想〕

- ・ 子どもからまたやりたいと要望があり、同じ内容で繰り返し行っている。
- ・ ボールの使い方を変えるだけで楽しさが変わるのがおもしろい。
- ・ 子ども達が望む声が多いので、継続していきたい。
- ・ 遊ばせ方の勉強になった。

〔保護者の感想〕

- ・ 楽しませながら運動させる方法は勉強になった。
- ・ たくさん遊ばせたいが遊ばせる場所がなかったのでありがたい。
- ・ 家でゲームしかしないので連れてきて良かった。運動させたかった。

エ バルシューレ講習会参加者の感想（指導者の育成）

- ・ 自分が子供になったつもりで参加した。楽しく勝ち負けがないことで、純粋に体を動かす楽しさを感じた。（40代一般女性）
- ・ 子どもに新しいゲーム内容を説明する難しさを感じた。集中させるためには引き付ける力が必要だ。（20代一般女性）
- ・ ボール以外にもスカーフを使うなど、楽しい種目が多く楽しめた。これを子ども達と遊ぶときに活かしたい。（20代男性指導者）
- ・ 自分たちで考えて行うことで認知能力の向上も図れるので、今後たくさんの子ども達に経験させたい。（20代女性指導者）
- ・ 子どもの発達にあわせた遊びの組合せはレクチャーできたが、実際に活動する際の難しさを経験できた。子ども達の楽しいや笑顔に寄り添える指導者になりたいと思いました。（30代男性指導者）

(6) 事業の成果及び課題

ア 成果について

- ・ 幼児と関わる保護者、指導者へ、運動遊びを普及・啓発するよい機会となり、関係者が重要性に気付くことができた。
- ・ セミナー、講習会等を通じて、子ども達へ「運動遊び」を提供できる指導者の育成が図られた。
- ・ バルシューレを実践して、子どもたちがとても楽しそうに活動していた。楽しく体を動かせるメニューで構成されているため、「次は何！まだやりたい！」と目を輝かせていた。
- ・ 多様な運動を継続的に実践することで、子どもたちの運動スキルや体を動かす等、運動に対する意欲の向上につながった。
- ・ 研修会等を通して、県内に幼児期の「運動遊び」の重要性を普及・啓発することができた。

イ 課題について

- 運動遊びの場を提供できる環境づくりをより広げる取り組み。
- 子どもの運動遊び（バルシューレ）を実践できる指導者の育成。
- 保育園や幼稚園等（こども園）、小学校での継続的な実践。
- 知名町から県内への普及するための方法の検討。

(7) 次年度へ向けての取組について

ア 鹿児島県教育委員会

- 令和4年度の取組を更に県内へ普及・啓発していけるような工夫を行い，来年度に向け「幼児期の運動遊び普及事業」の在り方について再検討し，更に県内全域を巻き込めるような事業展開をしていきたい。

イ 知名町教育委員会

- バルシューレを用いた取組（場の提供，指導者育成等）を継続するための基礎づくりができたので，更に関係機関と連携し，保育園や小学校でバルシューレを充実できるように推進していきたい。

鹿児島県教育委員会

鹿児島県鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号